
ウソツキ

描迷 氷菓

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウソツキ

【Nコード】

N5244N

【作者名】

描迷 氷菓

【あらすじ】

優しい嘘でも嘘は嘘。

私は優しい君が好き。

けれど、嘘つきは嫌いな。

それでも、私は君が好きなの。

うそつき。

私は助けてほしかったのに。

君は助けてくれると言ってくれたのに。

どうして。

涙が頬を伝わる感触があった。

涙の流れたあとはその筋が冷たくて、寒気が少しした。

携帯はいつまで待っても鳴らなくて、

君の手はいつまで経ったても私の手を握ってくれない。

「大丈夫」

そういつて、撫でてくれた。

でも、大丈夫じゃないの。

知らないの？

助けてよ。

泣いてるの。

「何でも言って？」

言いたい。

だけど、言えないの。

君が、いないの。

これまで、伝えたいことがたくさんあったのに

いつも、いつも君がなくて

言えなくて

うそつき。

どうしてよ。

私はここにいるの。

君は知っているでしょう？

窓の外は雪が優しく落ちて消えていく。

「こんな都会じゃ積もらないだろう。」と私は、思っている。

心の中で、「積もって欲しい」と思っていることは秘密にして。

期待して、外れるとダメージが大きいでしょう？

だから、ウソツキな君にも期待はしたくないの。

けど、心の中でこっそりと

君の事を期待しているのは秘密にして。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5244n/>

ウソツキ

2010年10月9日01時17分発行